

入学者選抜に 関する要項

 愛知県立芸術大学

令和
8
年度入学用

インターネット出願について

愛知県立芸術大学では、学部入学者選抜においてインターネット出願を導入しています。

出願期間内に「愛知県立芸術大学インターネット出願サイト」にアクセスし、必要事項を登録後、必要書類を提出してください。

URL <https://e-apply.jp/ds/aichi-fam-u/>



詳細については、今後公表予定の各学生募集要項を確認してください。

なお、冊子体での学生募集要項の配布は行っておりませんので、本学ウェブサイト「入試情報」から閲覧又はダウンロードしてください。

(11 ページ「7 各募集要項の公表時期等」を参照)

愛知県立芸術大学ウェブサイト「入試情報」

URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



●美術学部のアドミッション・ポリシー

美術学部では基礎的な実技能力を持ち、美術に対する豊かな感性と旺盛な表現意欲のある人、広い視野に立った芸術活動や研究活動、創作表現を目指すことができる人を求めています。芸術家、デザイナー、研究者、教育者など美術全般で専門性の高い人材を育成、輩出するために、専攻が独自のアドミッションポリシーを制定しています。

求める人物像

- ・美術に関心を持ち、本学の美術教育に必要な基礎知識や技能を有する人
- ・美術に対する豊かな感性をもち、将来幅広い視野に立った芸術・研究活動を目指す意欲を持つ人
- ・広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

入学者選抜試験の基本方針

- ・各専攻の特性に応じた選抜方法により専門分野の基本的な実技能力を、また一般選抜においては大学入学共通テストの結果を総合して可否を判定します。

◆日本画専攻

求める人物像

- ・基礎的な観察力と描写力、色彩による表現力を身に付け、広い視野で積極的に学ぶことのできる人
- ・自分の可能性を信じ、自分の考える絵画（日本画）表現の目標に向かって高い意欲を持って取り組める人
- ・芸術家として自己表現を目指す人
- ・新たな発想力と表現力を身につけ、社会で活かしたいと思っている人

入学者選抜試験の基本方針

基礎的な観察力及び描写力、表現力、絵画構成力を問う入学試験を実施します。

【一般選抜】

- ・一次試験では、大学入学共通テストの得点及び石膏素描による実技試験の得点の合算により可否を判定します。
 - ・二次試験では、水彩画による実技試験の得点によって、最終合格判定を行います。
- なお、大学入学共通テスト及び一次試験の得点は二次試験には加算されません。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、提出作品審査（平面作品）および面接試験により可否を判定します。
- ※実技試験、学力試験は行いません。

◆油画専攻

求める人物像

- ・基礎的な描写力と表現力を持つ人
- ・美術・絵画に強い関心と探究心を持つ人
- ・芸術家として自己実現を目指す人

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・一次試験では、大学入学共通テストの得点及び素描による実技試験の得点の合算により可否を判定します。
- ・二次試験では、油画または水彩画による実技試験の得点により最終合格を判定します。

◆彫刻専攻

求める人物像

- ・広範な立体表現に深い関心と探究心を持ち、芸術家を志す人
- ・創造のよろこびを実感し、粘り強く取り組む人
- ・様々な文化芸術に興味を持ち、多様な価値観に目を向ける人
- ・自ら創造性を育み、独自の表現力を身につけ、社会で活かしていきたい人

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・実技試験（素描・塑造）および大学入学共通テストの得点の合算により合否を判定します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、小論文および面接試験により合否を判定します。

◆芸術学専攻

求める人物像

- ・美術作品の鑑賞や研究、展覧会の企画などに強い関心のある人
- ・美術史、現代アート論、美学等に関心の高い人
- ・柔軟な感性と論理的な思考力を持ち、語学力にも優れている人

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び英語、小論文、素描の得点の合算により合否を判定します。

◆デザイン専攻

求める人物像

- ・日々の暮らしの様々なことに好奇心があり、社会や生活の問題を発見し、解決する思考力と行動力がある人
- ・多様な価値観を受け入れる柔軟性を持ち、様々な人々と協働できる人
- ・ものづくりや表現に強い関心があり、基礎的な表現力（描写、色彩・立体構成、コミュニケーション等）と提案力がある人

入学者選抜試験の基本方針

受験生が能力を最大限発揮できるように、受験生の特性を活かした3つの入試を実施します。また受験しやすい環境を整え、受験生の将来目標の実現可能性を高めます。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写と、色彩構成または立体構成による実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・モチーフや課題内容の把握力と理解力、描写力や構成力、独自の感性や表現の探究力を評価します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査及び面接試験により合否を判定します。
- ・コミュニケーション能力及び人物の志向性やデザインを研究する意欲を評価します。

※実技試験、学力試験は行いません。

【社会人特別選抜】

- ・自己アピール資料審査と面接試験、小論文により、合否を判定します。
- ・自己アピール資料では、デザインに対する志向性や能力、意欲を評価します。小論文では、論旨の明快さ、文章作成能力、発想力を評価します。

※実技試験、学力試験は行いません。

◆陶磁専攻

求める人物像

- ・基礎的な描写力、造形力、色彩による表現力を身につけ、多様な価値観を持ち積極的に学ぶことができる人。
- ・暮らしに関わる工芸やデザインに関心があり、想像力豊かな人
- ・陶磁分野の可能性を探究し、創作意欲のある人
- ・新たな発想力と表現力を身につけ、社会で活かしていきたい人

入学者選抜試験の基本方針

受験生が意欲を持って受験しやすい環境を整えるとともに、基礎的な観察力、描写力、色彩による表現力、造形力を問う入学試験を実施します。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写、色彩表現の実技試験の得点の合算により合否を判定します。
- ・合否ラインで総合得点が並んだ場合に、調査書・活動報告および志願理由書を活用します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、実技試験（立体）及び面接試験により合否を判定します。

◆メディア映像専攻

求める人物像

- ・専門を問わず様々な芸術に強い関心があり、新しい表現を目指す人
- ・メディア映像表現に強い関心と探究心を持っている人
- ・新たな問題を発見し、創造力を持って柔軟に解決する思考力と行動力がある人

入学者選抜試験の基本方針

- ・受験生が能力を最大限発揮できるように、試験問題、試験時間に配慮し受験しやすい環境を整えます。

【一般選抜】

- ・大学入学共通テストの得点及び描写、発想構成の実技試験の得点の合算により合否を判定します。

【総合型選抜】

- ・自己アピール資料審査、実技試験（発想）及び面接試験により合否を判定します。

●美術学部のカリキュラム・ポリシー

美術学部では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるよう、学生の個性を尊重し、徹底した個別指導を基本とする実技系授業を実施しています。各領域の現状を踏まえ専門の特徴を尊重したカリキュラムを制定しています。実技系の授業等と合わせ、専門に関する理論、歴史、外国語、一般教養等、選択可能な科目から幅広く学ぶことができます。

カリキュラムの編成方針

- ・美術学部では、実技授業を重点とする徹底した少人数教育を行います。
- ・専攻ごとのポリシーに則り、基礎から応用まで専門的に体系化された4年間の教育プログラムを提供します。

学修成果の評価について

- ・各科目の学修成果は、それぞれシラバスに示された評価基準と方法で、公平に評価します。

●美術学部のディプロマ・ポリシー

美術学部では、各専攻で定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけ、日本画、油画、彫刻、工芸、メディア、現代美術の芸術家、デザイナー、美術に関する研究者、教育者等、自立的な判断力に富み、創造的な能力に優れた人材の育成を目標としています。

学修成果目標

- ・自立した芸術家、デザイナー、研究者、教育者に必要な専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけます。
- ・主体性をもって社会で活躍できる力を身につけます。

学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、最終年次における「卒業制作」、「卒業論文（芸術学）」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を与えます。

●音楽学部のアドミッション・ポリシー

音楽学部では音楽に対する感性が豊かで表現意欲が旺盛な人や、将来国内はもとより、国際的視野にたった幅広い芸術・研究活動を目指すような、明確な目的意識と強い気概をもった人を求めています。

求める人物像

- ・音楽に関心を持ち、本学の音楽教育に必要な実技の基礎能力を有する人
- ・音楽に対する豊かな感性をもち、将来幅広い視野に立った芸術・研究活動を目指すような意欲をもった人
- ・広い視野と多様な価値観を持ち、自ら積極的に学ぶことのできる人

入学者選抜試験の基本方針

- ・各専攻の特性に応じた選抜方法により実技試験、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）を、また一般選抜においては大学入学共通テストの結果を総合して可否を判定します。

◆作曲専攻（作曲）

求める人物像

- ・創作研究に対する、謙虚且つ積極的な姿勢を持っている人
- ・感性、知性、表現力、独創性、柔軟性、好奇心、国際性等を持っている人
- ・音楽の創作において必要な基礎的能力を身につけている人
- ・入学前に得た知識や技術、見地などを、入学後に自ら発展・展開させる強い意志と意欲を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基本的かつ十分な作曲能力。特に楽典に基づいた正しい楽譜の読み書きができること、自己の表現したいものを適切な技術で書き表すことができること、和声、対位法等の理論をある程度習得していること
- ・音楽の基礎的能力（楽曲分析、ソルフェージュ、ピアノ実技等）を習得していること
- ・西洋音楽史の素養、特にバロックから近代までの基本的な楽曲を網羅的に知っていること
- ・基礎的な学力、語学力（特に英語）を習得していること

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・専門実技試験では、和声試験、作曲実技試験、口述試験などにより、作曲家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の作品を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

【総合型選抜】

- ・提出物による審査（作品、音楽活動記録、調査書他）の後、作曲実技試験、口述試験の結果を総合して可否を判定します。

◆作曲専攻（音楽学）

求める人物像

- ・音楽に対する知的好奇心を持っている人
- ・音楽を研究する上で必要な基礎的能力を備えている人
- ・芸術に対する豊かな感受性を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基礎的な文章の読解力
- ・基礎的な文章の表現力
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュや楽典等）
- ・基礎的な学力（外国語や一般教科）

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・論理的思考力および表現力をみる論述・口述試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

【学校推薦型選抜】

- ・音楽学の基礎的能力（英語力を試す出題を含む）、音楽の基礎的能力試験、口述の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

◆声楽専攻

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力を備えている人
- ・演奏家としての資質を備えている人
- ・積極的に学び、音楽界、芸術教育界を将来担うべく意欲旺盛な人

入学前に身につけてほしいこと

- 専門実技能力…学ぶ上で大切にして欲しいことは、第一に自主的に学ぶ姿勢と、積極的に表現しようとする姿勢です。そして、各人の資質に応じた無理のない発声を身につけ、音楽と言葉に対する感性を磨くよう努力して下さい。
- 音楽の基礎的能力…読譜力とピアノの演奏能力、また音楽についての広範な知識を積極的に吸収するよう心がけて下さい。
- 基礎的な学力、語学力…歌詞を歌う声楽においては、日本語を含む語学力は必要不可欠なものです。加えて作品の背景を知る為にも、歴史や文学に関する基本的な知識を身につけて下さい。

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・専門実技試験では、受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点（演奏家としての資質、技術、表現力）から採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

【総合型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）の後、専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験（ピアノ）を行い、それらの結果を総合して可否を判定します。
- ・専門実技試験においては、受験者の演奏を複数の審査員が様々な視点（演奏家としての資質、技術、表現力）から採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・面接試験においては、音楽に対する情熱や主体的に学ぶ姿勢を評価します。

◆器楽専攻（ピアノ）

求める人物像

- ・実力を伸ばすために努力できる人
- ・音楽への興味を持ち、ピアノ演奏を通して音楽芸術全般に積極的に関与したい人
- ・可能な限り多様なレパートリーを修得することに意欲のある人
- ・アンサンブルなど共同での演奏にも関心のある人

入学前に身につけてほしいこと

- ・基礎的な演奏技術と表現能力
- ・様々なジャンル、編成の音楽に親しむ姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュや楽典等）
- ・基礎的な学力（外国語や一般教科）

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・専門実技試験では、受験者一人一人の独奏を複数の審査員が「資質」、「技術」、「表現力」の視点から採点し、その集計結果によって評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

◆器楽専攻（弦楽器）

求める人物像

- ・演奏家としての資質と技術を備えている人
- ・将来音楽界、芸術教育界を担うべく意欲旺盛な人
- ・より高い技術やより深い音楽性を食欲に求める人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・自然を愛し、豊かな感受性、想像力を備えている人

入学前に身につけていてほしいこと

- 専門実技能力
 - ・音に対する感性を大切にする姿勢
 - ・感じたことを表現しようとする姿勢
 - ・音階・練習曲等、基礎技術
- 音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- 基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

【学校推薦型選抜】

- ・専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果及び提出書類（音楽活動記録、調査書他）を総合して可否を判定します。

◆器楽専攻（管打楽器）

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、愛知県の文化・自然・芸術に関心を持ち、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけていてほしいこと

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に興味を持ち、知識を広げておく
- ・積極的に演奏表現をしようとする姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【一般選抜】

- ・専門実技試験では、演奏家としての資質、技術、表現力をみます。受験者一人一人の独奏を複数の審査員が様々な視点から個々に採点し、それらを集計した結果により評価を決定します。
- ・専門実技試験の結果に加え、音楽の基礎的能力試験（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）と大学入学共通テスト（外国語、他）の結果を総合して可否を判定します。

【学校推薦型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、音楽の基礎的能力試験、面接試験の結果を総合して可否を判定します。

●音楽学部のカリキュラム・ポリシー

音楽学部では、ディプロマポリシーに掲げる目標を達成できるよう、学生の個性を伸ばすため、専門実技授業では4年間徹底した個人指導による教育を行います。

実技系の授業等とあわせ、音楽理論、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く学ぶこともできます。

カリキュラムの編成方針

- ・専門の授業・レッスンでは、徹底した個人指導による教育を行います。
- ・専攻ごとのポリシーに則り、基礎から応用まで専門的に体系化された4年間のプログラムを提供します。
- ・専攻科目の他に、幅広い理論系の授業、外国語、一般教養等、選択可能な科目を幅広く履修することができます。

学修成果の評価について

- ・各科目の学修成果は、それぞれシラバスに示された評価基準と方法で、公平に評価します。

●音楽学部のディプロマ・ポリシー

音楽学部では、各専攻で定める専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけた、国際的視野に立った、創造的に音楽に関わる優れた人材の育成を目標としています。

学修成果目標

- ・自立した音楽家・音楽関係者に必要な専門分野に関する知識・技能・社会的対応力、幅広い教養を身につけます。
- ・主体性をもって社会に活躍できる協働力を身につけます。

学位認定の方針、評価方法

- ・所定の期間在学し、最終年次における「卒業作品（作曲）」、「卒業論文（音楽学）」、「卒業演奏（実技系）」を含む所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士（芸術）の学位を授与します。

令和8年度 愛知県立芸術大学入学者選抜に関する要項

1 学部、学科、専攻及び募集人員

学 部	学 科	専 攻 (コース)		定 員	募 集 人 員				
					一般選抜	総合型選抜	社会人特別選抜	学校推薦型選抜	
美術学部	美 術 科	日 本 画		10 名	10 名	(若干名)			
		油 画		25 名	25 名				
		彫 刻		10 名	10 名	(若干名)			
		芸 術 学		5 名	5 名				
	デザイン・工芸科	デ ザ イ ン		25 名	17 名	8 名	(若干名)		
		陶 磁		10 名	8 名	2 名			
		メディア映像		10 名	8 名	2 名			
	計			95 名	95 名				
音楽学部	音 楽 科	作 曲	作 曲	8 名	8 名	(若干名)			
			音 楽 学	2 名	2 名			(若干名)	
		声	声 楽		30 名	26 名		4 名	
			器 楽	ピ ア ノ	25 名	25 名			
		弦 楽 器		15 名	12 名			3 名	
		管 打 楽 器		20 名	15 名			5 名	
		計			100 名	100 名			
	合 計			195 名	195 名				

※ 美術学部の総合型選抜日本画専攻、彫刻専攻募集人員（若干名）、社会人特別選抜募集人員（若干名）、音楽学部の総合型選抜作曲専攻作曲コース募集人員（若干名）、学校推薦型選抜作曲専攻音楽学コース募集人員（若干名）は、一般選抜の募集人員に含まれます。

2 一般選抜

(1) 出願資格

本学に出願できる者は、令和8年度大学入学共通テストにおいて本学の指定する教科・科目を受験した者で、次のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの

（注）出願資格⑧により出願しようとする者は、令和7年8月18日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

(2) 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別テスト等（専攻別実技試験等）及び調査書等により総合的に判定します。
大学入学共通テストの受験を要する教科及び個別テスト等の教科等は、別紙1 (P. 12)、別紙2 (P. 13)のとおりです。
個別テスト等の試験日程及び試験科目は、別紙3 (P. 14)、別紙4 (P. 15)のとおりです。
なお、本学においては、「大学入学共通テストの前年度成績」は利用しません。

(3) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

3 美術学部総合型選抜

美術学部美術科日本画専攻、彫刻専攻及びデザイン・工芸科デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻において実施します。デザイン専攻においては、令和8年3月31日現在において、22歳以下の者を対象とします。大学入学共通テストを免除し、調査書、志願理由および自己推薦書、自己アピール資料による第1次選考後、面接、提出作品審査(日本画専攻のみ)、小論文(彫刻専攻のみ)及び実技試験(陶磁専攻、メディア映像専攻のみ)による第2次選考を行います。

出願資格詳細及び実施細目については、別紙5 (P. 16)を参照してください。

出願期間：令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効 選抜期日：令和7年11月29日（土）、令和7年11月30日（日）第1次選考合格者のみ
--

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

4 社会人特別選抜

美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻において、令和8年3月31日現在において、社会人の経験を3年以上有する23歳以上の者を対象に実施し、大学入学共通テストを免除し、志願理由書、自己アピール資料による第1次選考後、小論文及び面接による第2次選考を行います。

実施細目については、別紙6 (P. 17)を参照してください。

出願期間：令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効 選抜期日：令和7年11月29日（土）第1次選考合格者のみ
--

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

5 学校推薦型選抜

音楽学部音楽科作曲専攻音楽学コース、器楽専攻弦楽器コース、管打楽器コースにおいて、令和8年3月卒業等見込みの者で出身学校長が推薦したものを対象に実施します。大学入学共通テストを免除し、調査書、音楽活動記録書等による書類審査、実技試験及び、音楽に関する基礎的能力試験等を行います。

実施細目については、別紙7 (P. 18)を参照してください。

出願期間：令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効 選抜期日：令和7年11月29日（土）、令和7年11月30日（日）管打楽器コースは書類選考合格者のみ

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

6 音楽学部総合型選抜

音楽学部音楽科作曲専攻作曲コース及び声楽専攻において実施します。作曲専攻作曲コースにおいては、令和8年3月31日現在において35歳以下の者を対象とします。大学入学共通テストを免除し、調査書、音楽活動記録書等の提出書類と提出作品（作曲コースのみ）による書類選考後、実技試験、口述試験（作曲コースのみ）、面接試験及び音楽に関する基礎的能力試験（声楽専攻のみ）による本選考を行います。

実施細目については、別紙8(P.19)を参照してください。

出願期間：令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効 選抜期日：令和7年11月29日（土）、令和7年11月30日（日）書類選考合格者のみ

※日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。

※障がい等を有する等の入学志願者との事前相談

事前相談の時期、方法等については、募集要項を参照してください。

7 各募集要項の公表時期等

美術学部総合型選抜、社会人特別選抜、音楽学部学校推薦型選抜・総合型選抜の募集要項は7月下旬～8月上旬に、一般選抜の募集要項は10月上旬に公表予定です。

なお、冊子体での募集要項の配布は行いませんので、本学ウェブサイト「入試情報」から閲覧又はダウンロードしてください。

本学ウェブサイト「入試情報」

[URL、QRコード]

<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



8 受験に関する照会先

〒480-1194

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は午前9時から午後5時まで）

メールアドレス admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

令和8年度 一般選抜の実施教科・科目等について(美術学部)

学部・学科等名 及び募集人員等 〔令和7年度 志願倍率〕		個別テスト 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等	入学定員 欠員時の 補充方法
			教科	科目名等	教科等	科目名等		
美術学部 [9.1] 83人	美術科 日本画専攻 10人	後期 3月14日 17日 18日	国語 外国語	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須	その他	実技試験	配点は募集要項等で別途公表する。 大学入学共通テスト、個別テスト等、調査書、活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書、活動報告および志願理由書は、可否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。	追加合格
	美術科 油画専攻 25人	後期 3月12日 17日 18日	地理歴史 公民 ※1 数学 理科 ※2 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』 から1科目選択 【3教科3科目】	その他	実技試験	大学入学共通テストの選択科目について、地理歴史公民、数学、理科及び情報の中から得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。 地理歴史公民、数学、理科及び情報の得点については、国語、外国語の2教科と同一の200点満点として換算する。	追加合格
	美術科 彫刻専攻 10人	後期 3月14日 15日		※1『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答すること ※2『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答すること	その他	実技試験		追加合格
	美術科 芸術学専攻 5人	後期 3月17日	国語 外国語 地理歴史	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須 『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』から1科目 必須 【3教科3科目】	外国語 その他	英語 小論文 実技試験	配点は募集要項等で別途公表する。 大学入学共通テスト、個別テスト等、調査書、活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書、活動報告および志願理由書は、可否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。 地理歴史の科目を複数受験した場合は、最も得点の高い1科目を選んで入学者選抜に用いる。 地理歴史の得点については、国語、外国語の2教科と同一の200点満点として換算する。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。	追加合格
	デザイン・工芸科 デザイン専攻 17人	後期 3月16日 17日	国語 外国語	『国語』1科目 必須 『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』から1科目 必須	その他	実技試験	配点は募集要項等で別途公表する。 大学入学共通テスト、個別テスト等、調査書、活動報告および志願理由書等により総合的に判断する。 ※調査書、活動報告および志願理由書は、可否ラインで総合得点が並んだ場合に活用する。	追加合格
	デザイン・工芸科 陶磁専攻 8人	後期 3月17日 18日	地理歴史 公民 ※1 数学 理科 ※2 情報	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』 から1科目選択 【3教科3科目】	その他	実技試験	大学入学共通テストの選択科目について、地理歴史公民、数学、理科及び情報の中から得点の高いもの1教科1科目を選んで入学者選抜に用いる。 なお、英語についてはリーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)を合計することで、200点満点として利用する。 地理歴史公民、数学、理科及び情報の得点については、国語、外国語の2教科と同一の200点満点として換算する。	追加合格
	デザイン・工芸科 メディア映像専攻 8人	後期 3月14日 15日		※1『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答すること ※2『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答すること	その他	実技試験		追加合格

※定められた教科・科目を受験していない者には、個別テスト等の受験を認めませんので、十分注意してください。

令和8年度 一般選抜の実施教科・科目等について(音楽学部)

学部・学科等名 及び募集人員等 〔令和7年度 志願倍率〕		個別テスト 等の区分・ 日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別テスト等		大学入学共通テスト・個別テスト等の配点等	入学定員 欠員時の 補充方法
			教科	科目名等	教科等	科目名等		
音楽 学部 [1.8] 88人	音楽科 作曲専攻 (作曲) 8人	後期 3月11日 12日 13日 15日	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 から1科目必須	} から1科目選択 【2教科2科目】	その他	実技試験 口述試験 音楽の基礎的 能力試験	追加合格
	音楽科 作曲専攻 (音楽学) 2人	後期 3月12日 13日 15日	国語 『国語』 地理歴史 公民※1 『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 数学 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 理科※2 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 情報 『物理』『化学』『生物』『地学』 『情報Ⅰ』	外国語 (英、独、仏 から1科目 選択) その他 論述試験 口述試験 音楽の基礎的 能力試験		追加合格		
	音楽科 声楽専攻 26人	後期 3月11日 12日 13日 15日	※1 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答 すること ※2 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の うち、いずれか2つを選択して解答すること			その他	実技試験 音楽の基礎的 能力試験	追加合格
	音楽科 器楽専攻 (ピアノ) 25人	後期 3月10日 11日 12日 13日 15日				その他	実技試験 音楽の基礎的 能力試験	追加合格
	音楽科 器楽専攻 (弦楽器) 12人	後期 3月12日 13日 15日				その他	実技試験 音楽の基礎的 能力試験	追加合格
	音楽科 器楽専攻 (管打楽器) 15人	後期 3月11日 13日 15日				その他	実技試験 音楽の基礎的 能力試験	追加合格

※定められた教科・科目を受験していない者には、個別テスト等の受験を認めませんので、十分注意してください。

(別紙3)

**令和8年度 愛知県立芸術大学
個別テスト等（専攻別実技試験等）日程**

出願期間：令和8年1月26日（月）～令和8年2月4日（水）締切日消印有効
（ただし、日本国外から出願する場合は、締切日午後5時必着とします。）

美術学部試験日程及び試験科目

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

学科	美術科				デザイン・工芸科		
専攻	日本画	油画	彫刻	芸術学	デザイン	陶磁	メディア映像
日程 年月日	後期						
令和8年 3月12日 (木)		第1次試験 素描					
3月13日 (金)							
3月14日 (土)	第1次試験 石膏素描		素描				描写
3月15日 (日)			塑造				発想構成
3月16日 (月)	第1次 合格発表	第1次 合格発表			描写		
3月17日 (火)	第2次試験 水彩画	第2次試験 油画又は 水彩画		英語 小論文 素描（鉛筆）	色彩構成又は 立体構成 (出願科目ご選択)	描写	
3月18日 (水)						色彩表現	
3月21日 (土)	合 格 発 表						

音楽学部試験日程及び試験科目

(別紙4)

専攻別実技試験等は、次の表のとおりです。

専攻 (コース)		作 曲		声 楽	器		楽
		作 曲	音 楽 学		ピ ア ノ	弦 楽 器	管 打 楽 器
日程 年月日		後 期					
令和8年 3月10日 (火)	専攻別 実技試験				第1次試験 課 題 曲		
3月11日 (水)		第1次試験 (1)和声課題		第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課 題 曲		第1次試験 課 題 曲 (注)
3月12日 (木)		(2)器楽曲作曲 前半3時間 (ピアノなし) ／後半4時間 (ピアノあり)	第1次試験 音楽学に関する 基礎的試験 論述 外国語(英、独、 仏から1科目)	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔ヴァイオリン〕 〔ヴィオラ〕	第1次合格発表
3月13日 (金)		(3)口述試験* (面接を含む) *試験で書いた 答案についての 質疑応答	第1次試験 口述	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 コールユーブンゲン	第1次試験 課 題 曲	第1次試験 課 題 曲 自 由 曲 〔チェロ〕 〔コントラバス〕 〔ハープ〕	第2次試験 課 題 曲 (注)
3月14日 (土)			第1次合格発表	第1次合格発表	第1次合格発表	第1次合格発表	第2次合格発表
3月15日 (日)	音楽の 基礎的 能力試験	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典 副科ピアノ	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典 副科ピアノ	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典 副科ピアノ	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典 副科ピアノ	ソルフェージュ (聴音・新曲視唱) 楽典 副科ピアノ
3月21日(土)		合 格 発 表					

(注) 管打楽器種類

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、
ホルン、トランペット、トロンボーン、バストロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、
パーカッション、マリンバ

令和8年度 愛知県立芸術大学美術学部 総合型選抜方法

実施学部・学科名	美 術 科：日本画専攻、彫刻専攻 デザイン・工芸科：デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻			
募 集 人 員	美 術 科：日本画専攻、彫刻専攻 若干名 デザイン・工芸科：デザイン専攻 8名 陶磁専攻、メディア映像専攻 2名			
出 願 資 格	日本画専攻、彫刻専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻 ：次の(1)と(2)の両方に該当する者 デザイン専攻 ：令和8年3月31日現在において <u>22歳以下</u> で、次の(1)と(2)の両方に該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達するもの 注：出願資格⑧により出願しようとする者は、令和7年8月18日（月）までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者			
出 願 期 間	令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効			
選 抜 期 日 及 選 抜 方 法	日 本 画 専 攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和7年11月29日(土)	提出作品審査(平面作品)、面接
	彫 刻 専 攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和7年11月29日(土)	小論文、面接
	デザイン専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和7年11月30日(日)	面接（作品審査を含む）
	陶 磁 専 攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和7年11月29日(土)	実技試験（立体）、面接
	メディア映像専攻	第1次選考		自己アピール資料、書類審査
		第2次選考	令和7年11月29日(土)	実技試験（発想課題）、面接
合 格 発 表 日	第1次選考合格者発表 最 終 合 格 者 発 表		令和7年11月20日（木） 令和7年12月 8日（月）	

令和8年度 愛知県立芸術大学美術学部 社会人特別選抜方法

実施学部・学科名	デザイン・工芸科：デザイン専攻		
募集人員	デザイン・工芸科：デザイン専攻 若干名		
出願資格	令和8年3月31日現在において23歳以上に達し、社会人の経験（注1）を3年以上有する者で、次の各号のいずれかに該当する者としてします。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和8年3月修了見込みの者 (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者 (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者 (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和8年3月31日までに合格見込みの者 (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注2） （注1）社会人の経験：定時制、通信制及び夜間部以外の学校（大学を含む）の在学期間は社会人の経験期間に含めません。 （注2）出願資格(8)により出願しようとする者は、令和7年8月18日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。		
出願期間	令和7年10月29日（水）～令和7年11月4日（火）締切日消印有効		
選抜期 及び 選抜方法	デザイン専攻	第1次選考	出願書類審査
		第2次選考	令和7年11月29日(土) 小論文、面接（作品審査を含む）
合格発表日	第1次選考合格者発表 令和7年11月20日（木）		
	最終合格者発表 令和7年12月8日（月）		

令和 8 年度 愛知県立芸術大学音楽学部 学校推薦型選抜方法

実施学部・学科名	音楽科：作曲専攻(音楽学) 器楽専攻(弦楽器、管打楽器)					
募 集 人 員	音楽科：作曲専攻(音楽学)若干名 器楽専攻(弦楽器)3名 器楽専攻(管打楽器)5名					
出 願 資 格	次の(1)、(2)、(3)、(4)の全てに該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を令和8年3月卒業見込みの者 ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年3月31日までに修了見込みの者 ③ 上記①②以外の学校を令和8年3月卒業見込みの者で、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもので、令和8年3月31日までに18歳に達するもの 注 出願資格③により出願しようとする者は、令和7年8月18日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確認できる者 (3) 出身学校長が責任をもって推薦できる者 各学校において推薦できる人数は、作曲専攻(音楽学)は1名までとします。器楽専攻(弦楽器)においては、人数の制限はありません。器楽専攻(管打楽器)においては、5名まで推薦できます。 (4) 本学他学部および他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者					
出 願 期 間	令和7年10月29日(水)～令和7年11月4日(火) 締切日消印有効					
選 抜 期 日 及 選 抜 方 法	作 曲	音 楽 学	選 考	令和7年11月29日(土) 11月30日(日)	音楽学の基礎的能力試験(英語力を試す出題を含む)、 音楽の基礎的能力試験、 口述試験、 提出書類(小論文を含む)	
	器 楽	弦 楽 器	選 考	令和7年11月29日(土) 11月30日(日)	実技、面接試験、初見視奏 音楽の基礎的能力試験、 提出書類	
		管 打 楽 器	書 類 選 考			書類による審査 (録画による審査を含む)
			本 選 考	令和7年11月29日(土) 11月30日(日)	実技、面接試験、 音楽の基礎的能力試験	
合 格 発 表 日	書類選考合格者発表 令和7年11月20日(木) 最終合格者発表 令和7年12月8日(月)					

令和 8 年度 愛知県立芸術大学音楽学部 総合型選抜方法

実施学部・学科名	音楽科：作曲専攻(作曲)、声楽専攻			
募集人員	音楽科：作曲専攻(作曲)若干名、声楽専攻 4 名			
出願資格	作曲専攻(作曲)：令和 8 年 3 月 31 日現在において <u>35 歳以下</u> で、次の(1)と(2)の両方に該当する者 声楽専攻：次の(1)と(2)の両方に該当する者 (1) 次のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和 23 年文部省告示第 47 号) ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26 年文部省令第 13 号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和 8 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 8 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの 注 出願資格⑧により出願しようとする者は、令和 7 年 8 月 18 日(月)までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。 (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者			
出願期間	令和 7 年 10 月 29 日(水)～令和 7 年 11 月 4 日(火) 締切日消印有効			
選 抜 期 日 及 選 抜 方 法	作 曲 専 攻 (作 曲)	書類選考		書類による審査 (提出作品を含む)
		本選考	令和 7 年 11 月 29 日(土)	器楽曲作曲、口述試験
	声 楽	書類選考		書類による審査
		本選考	令和 7 年 11 月 29 日(土) 11 月 30 日(日)	実技、面接試験、 音楽の基礎的能力試験
合格発表日	書類選考合格者発表 令和 7 年 11 月 20 日(木)			
	最終合格者発表 令和 7 年 12 月 8 日(月)			

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

TEL 0561-76-2603（入試課直通）

MAIL admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

愛知県立芸術大学ウェブサイト URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

